



平成28年11月9日

各位

会社名 タカセ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(JASDAQ・コード9087)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
笹岡 幹男
(TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表した連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位：百万円)

平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	4,370	5	10	0	0.00
今回修正予想(B)	4,300	△80	△80	△95	△9.56
増減額(B-A)	△70	△85	△90	△95	—
増減率(%)	△1.6	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,573	△20	△10	53	5.34

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	9,000	50	55	30	3.02
今回修正予想(B)	8,700	△135	△135	△160	△16.09
増減額(B-A)	△300	△185	△190	△190	—
増減率(%)	△3.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	9,222	25	34	△231	△23.25

修正の理由

当第2四半期累計期間における営業収益は、厳しい事業環境にある中、不採算取引の見直しをする一方、取引の拡大に努めてきましたが、当第2四半期の業務取扱量が想定以上に低迷したことから、期初予想値に対して、70百万円減（△1.6%）の43億円となる見込みであります。

利益面につきましては、運賃仕入コストや労務コストが上昇基調にある中、業務の効率化等コスト削減に取り組みましたが、当第2四半期の急激な業務取扱量の減少により操業度の低下を招いたことから、営業損益は期初予想値に対して85百万円減少し80百万円の営業損失となる見込みであり、経常損益は期初予想値に対して90百万円減少し80百万円の経常損失となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する四半期純損益は、期初予想値に対して95百万円減少し95百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となる見込みであります。

通期の業績予想につきましても、第2四半期連結累計期間における業績予想の修正要因に加え、下半期も上半期同様に全般的な業務取扱量の減少が予想されることから、上記のとおり修正いたします。

（ご留意事項）

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上